

特集

レッツプレイ イン イングリッシュ!

—Let's play in English!—

平成23年度から、小学5年・6年生で外国語活動（英語）が必修となり、英語でのコミュニケーション能力の基礎を養うためのさまざまな活動が行われています。幼少期は柔軟な適応力があり、コミュニケーションに対する積極的な態度の育成や英語の音声に慣れ親しむのに適しているといわれています。今回は、本市の取り組みを入り口にして、幼少期に英語に親しむ重要性を考えます。

●お問い合わせ／市まちづくり推進課市民交流推進室 ☎26-5612



体を動かしたりゲームをしたりしながら、自然と英語に慣れていきます

英語であそぼう！

レッスンが行われている教室から元気な声が聞こえてきます。中をのぞくと、先生を囲んで子どもたちが楽しそうに遊んでいます。

先生と子どもたちの口から聞こえるのは、英語。先生の問い掛けに対して、みんな自然と英語で答えています。

本市で今年度から始まった、英語で発信できる子ども育成事業（通称「英語であそぼう」）では、年中から小学4年生までを対象に、市内3か所の会場でレッスンをを行っています。レッスンは毎週土曜日に行われ、来年3月まで開催されます。

ポイント① 楽しむ

いろいろな歌やゲームなどの活動を通して、英語に初めて触れる子どもたちも楽しく取り組んでいます。

ポイント② 伝える

英語で自分の思いを伝え合う



ゲームなどのそれ自体の楽しさに加えて、
子どもの好奇心を引き出すさまざまな工夫がされています



最初は恥ずかしそうにしていた子どもたちが、だんだん英語で
自分のことを伝えたり相手のことを聞いたりするようになりました



熊谷 幸花ちゃん(9歳)
薫さん
(公益ホール教室)

3年前までカナダで生活していましたが、日本に来てから娘が英語に触れる機会がなくなったのが気になっていました。「英語であそぼう」には、英語を学ぶというよりも、感覚を取り戻すために参加しました。

最初、娘は参加に前向きではありませんでしたが、英語だけのレッスンと、何より同年代の子が英語を使って話している環境がとても心地良いようです。

「英語であそぼう」のように、気軽に、また役に立つ英語に触れられる取り組みを今後も続けてほしいです。

参加者に聞きました



長谷部 心実ちゃん(5歳)
育美さん
(ひらたタウンセンター教室)

英語のネイティブスピーカーの先生から学べる機会を以前から探していたことと、娘が英語に興味を持ち始めたことが重なった時期に「英語であそぼう」を知り、応募しました。

娘はレッスンを楽しみにしていて、覚えてきた歌や単語を家でもよく声に出しています。「遊び」から「学び」へと自然につながっているようです。

娘には日本語も大切にすると同時に、豊かな英語力も身に付けられるよう、ますます英語を好きになってほしいです。

月ごと・週ごとに
テーマを設定



英語の発音や書き方も
楽しみながら覚えます



※英語のネイティブスピーカー／英語を母国語とする人のこと

レッスンの先生は※英語のネイティブスピーカーで、出身国もさまざまです。今後は国旗を使ったゲームなどを通して他の国の文化にも触れる予定です。また自分たちの国である日本の文化を知り、発信できるようにしていきます。

ポイント③ 触れる

ことにより、「コミュニケーション能力を育てます。」

「英語で遊ぼう」の先生に聞きました

「英語であそぼう」でレッスンを担当している個性豊かな3人の先生。英語を身に付けるためのポイントと、これから英語を始めたいと思っている人へのメッセージをいただきました。

英語を覚えるためには、たくさん話すことと、それ以上にたくさん聞いてまねることが大切です。レッスンでは、英語の発音と日本語の発音が違うことも教えています。英語を使えると、たくさんの国で言葉が通じるようになり、世界が広がります。

English is not something you perfect by studying. You become good at it (English) by using and having fun with it.

As children, what is important is that you like English. Just have fun and think of it as something that you can use to talk and make friends.

英語は勉強することで「マスター」できるようなものではなく、実際に使ったり、楽しんだりすることで上手になるものです。子どもにとって大切なのは、英語を好きになることです。英語は、おしゃべりをしたり、友達を作ったりするために役立つものと考えて、英語を楽しみましょう。



フェイリン先生
(フィリピン出身)



マイク先生
(アメリカ出身)

英語の指導では、読む、書く、話す、聞く、全部が大切だと考えています。子どもによって得意なことは違うので、4つを一緒に教えることで能力を伸ばすことができます。英語に限らず、「間違っても大丈夫、やってみる」という気持ちで新しいことに挑戦すると、何にでも前向きに取り組めるようになります。

If you think you can, you can. If you think you can't, you can't. So! Believe in yourself and never give up and you can do anything! English, science, friendship, anything! Go for it!

何事も「できる」と思えばやれるし、「無理だ」と思えばできません。それなら、決してあきらめず、何でもできると自分を信じましょう！英語も、理科も、友達づくりも、何でもね！がんばって！

英語を教えるときは、子どもたちが聞き取れるようにゆっくりとしゃべることを気を付けています。分からない言葉もジェスチャーなどで日本語を使わず、英語で理解してもらえるようにしています。英語を身に付けるには、英語を聞いてしゃべることと、英語に慣れ、楽しむことが大切だと思います。

I want to continue this project in the future, because I want to teach them to write, read, and speak.

“Let's Enjoy English” is a chance to use the English they have learned and develops an awareness that English is a tool for communication.

私は、今後もこのプロジェクトが続き、これからも書くこと、読むこと、話すことを子どもたちに教えていきたいと考えています。この「英語であそぼう」は、子どもたちが、習った英語を実際に使いながら、英語がコミュニケーションのためのツールだということに気付くきっかけとなるでしょう。



ジーン先生
(フィリピン出身)

英語を使って仕事をしている人に聞きました

私たちの近くにも、普段から英語を使って仕事をしている人がいます。英語にまつわる体験談や、英語が使えてよかったことを教えてもらいました。

私たちの会社は世界各地に拠点があり、ときには海外の方と仕事をするため、英語でコミュニケーションを取る必要があります。私は電子部品の設計開発を担当しており、海外の担当者との打ち合わせやメールのやり取りで英語を使っています。

平成23年6月から1年間、ドイツのハイデンハイムで海外研修に参加する機会がありました。異文化の中で生活や仕事をしてみて、異なる言語の方々とコミュニケーションを取る上で、改めて英語の重要性を実感しました。

今後はさらに英語力を磨いて、より円滑なコミュニケーションが取れるようになりたいと思っています。

TDK庄内株式会社酒田工場では、英語を必要とする業務に従事する若手社員を対象に、カナダ出身の方を講師に招き週2回の英会話レッスンを行っています。



TDK庄内株式会社酒田工場
巻線 EMC 製品技術部
信号 EMC 製品技術課設計一係
有光 一統さん

●私たちの近くにある英語のニーズ

日本全体で海外展開する企業が増えていますが、庄内地域でも外国と取り引きしたり海外進出を考えたりしている企業があります。そこに勤める社員や新たに就職する人には、英語力が必要とされます。

日常生活でも、ニュースなどでよく耳にするカタカナ語のほとんどは英語です。仕事で英語を使わない人でも、英語の知識があったほうがより豊かな生活が送れると思います。

●英語を身に付けるためには

義務教育で英語を習っていても、実際には英語が聞き取れず話せない人や、外国人と会うと緊張してしまう人はたくさんいます。実用的な英語を習得するためには、かつて自分が日本語を習得した子どもと同じように、たくさん見聞きし発声することが大切です。特に幼少期は、自分がよく話す言語に合った口の形が形成されます。この時期にたくさん英語に触れて声に出すと、自然と英語の発音が身に付きやすくなります。



山形県立産業技術短期大学校庄内校
国際経営科 副主任講師
齊藤 みどり先生

●幼少期に英語に接する効果

楽しく英語に触れたことがある子どもは、学校で英語を学ぶときも「昔やったな」と感じて、すんなりと入っていくことができると思います。

英語はコミュニケーションを取るための手段です。幼少期に英語に接することは、異文化に対する抵抗感を減らし、異なるものを受容することにつながります。「英語であそぼう」のような、英語に初めて触れるきっかけを体験してみても、あとは家庭で英語の絵本やアニメのDVDを親子で一緒に楽しんだり、英会話教室に通ったりして、英語に接する機会を作れるといいですね。